

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成25年12月27日
【四半期会計期間】	第51期第3四半期（自 平成25年8月21日 至 平成25年11月20日）
【会社名】	株式会社瑞光
【英訳名】	ZUIKO CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 和田 昇
【本店の所在の場所】	大阪府摂津市南別府町15番21号
【電話番号】	(06)6340 - 2215（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員管理部長 和田 晃司
【最寄りの連絡場所】	大阪府摂津市南別府町15番21号
【電話番号】	(06)6340 - 2215（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員管理部長 和田 晃司
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第50期 第3四半期連結 累計期間	第51期 第3四半期連結 累計期間	第50期
会計期間	自平成24年2月21日 至平成24年11月20日	自平成25年2月21日 至平成25年11月20日	自平成24年2月21日 至平成25年2月20日
売上高(千円)	15,272,093	20,076,255	22,116,140
経常利益(千円)	1,981,544	3,283,215	3,441,078
四半期(当期)純利益(千円)	1,288,399	2,253,847	2,315,221
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	1,291,451	2,927,117	2,768,485
純資産額(千円)	15,017,717	18,797,525	16,494,640
総資産額(千円)	25,007,679	32,852,116	28,429,014
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	196.17	343.17	352.51
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期) 純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	60.1	57.2	58.0

回次	第50期 第3四半期連結 会計期間	第51期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年8月21日 至平成24年11月20日	自平成25年8月21日 至平成25年11月20日
1株当たり四半期純利益金額(円)	99.37	80.59

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の金融政策などの効果により円安・株高基調が進み、設備投資も弾みがつき、景気回復の兆しが見え始めているものの、一方で円安による原材料価格の上昇や電気料金の値上げ、さらに平成26年4月からの消費税増税による個人消費の低迷の懸念があり、依然として実体経済への影響は限定的な状態が続いております。

このような経済環境のもと、当社グループは、積極的にグローバル化を目指し、新しい技術革新に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は20,076百万円（前年同四半期比31.5%増）、営業利益は3,062百万円（同52.7%増）、経常利益は3,283百万円（同65.7%増）、四半期純利益は2,253百万円（同74.9%増）となりました。

#### (2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ4,423百万円増加し32,852百万円となりました。現金及び預金が616百万円減少いたしましたが、仕掛品が3,004百万円、受取手形及び売掛金が753百万円、無形固定資産が305百万円、原材料及び貯蔵品が294百万円、建物及び構築物が173百万円及び投資有価証券が111百万円増加いたしました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,120百万円増加し14,054百万円となりました。未払法人税等が545百万円減少いたしましたが、支払手形及び買掛金が1,717百万円、前受金が797百万円及び賞与引当金が156百万円増加いたしました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,302百万円増加し18,797百万円となりました。利益剰余金が1,629百万円及び為替換算調整勘定が596百万円増加いたしました。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

#### (4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は84百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

#### (5) 従業員数

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの従業員数は生産能力の増強に伴い前連結会計年度末に比べ40名増加しております。

なお、従業員数は就業人員であります。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	19,000,000
計	19,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年11月20日)	提出日現在発行数(株) (平成25年12月27日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	7,200,000	7,200,000	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数100株
計	7,200,000	7,200,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年8月21日～ 平成25年11月20日	-	7,200,000	-	1,888,510	-	2,750,330

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年8月20日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年11月20日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	（自己保有株式） 普通株式 632,200	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 6,563,900	65,639	-
単元未満株式	普通株式 3,900	-	1単元（100株）未満の株式
発行済株式総数	7,200,000	-	-
総株主の議決権	-	65,639	-

（注）単元未満株式には、当社所有の自己株式10株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年11月20日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％）
（自己保有株式） 株式会社瑞光	大阪府摂津市 南別府町15-21	632,200	-	632,200	8.78
計	-	632,200	-	632,200	8.78

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年8月21日から平成25年11月20日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年2月21日から平成25年11月20日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,102,598	7,485,749
受取手形及び売掛金	7,762,643	8,516,494
商品及び製品	14,837	15,091
仕掛品	3,824,699	6,828,975
原材料及び貯蔵品	855,876	1,150,236
その他	843,311	1,107,093
貸倒引当金	50	60
流動資産合計	21,403,915	25,103,580
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,593,268	1,766,999
機械装置及び運搬具(純額)	534,018	576,495
土地	3,443,522	3,445,603
リース資産(純額)	48,405	93,513
建設仮勘定	57,678	48,365
その他(純額)	142,615	193,669
有形固定資産合計	5,819,508	6,124,646
無形固定資産	369,035	674,915
投資その他の資産		
投資有価証券	711,231	822,264
その他	125,322	126,710
投資その他の資産合計	836,554	948,975
固定資産合計	7,025,098	7,748,536
資産合計	28,429,014	32,852,116
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,847,778	7,565,272
リース債務	9,659	17,554
未払法人税等	1,009,334	463,838
前受金	3,947,954	4,745,589
賞与引当金	192,321	349,005
役員賞与引当金	40,000	33,750
その他	408,084	328,660
流動負債合計	11,455,131	13,503,670
固定負債		
退職給付引当金	130,911	128,362
リース債務	40,614	80,740
長期未払金	290,961	290,470
その他	16,755	51,347
固定負債合計	479,242	550,920
負債合計	11,934,373	14,054,591

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月20日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,888,510	1,888,510
資本剰余金	2,750,330	2,750,330
利益剰余金	13,143,802	14,773,710
自己株式	594,439	594,732
株主資本合計	17,188,202	18,817,817
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	294,865	371,185
土地再評価差額金	1,165,229	1,165,229
為替換算調整勘定	176,802	773,752
その他の包括利益累計額合計	693,561	20,292
純資産合計	16,494,640	18,797,525
負債純資産合計	28,429,014	32,852,116



## ( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

( 単位：千円 )

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年2月21日 至 平成24年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年2月21日 至 平成25年11月20日)
売上高	15,272,093	20,076,255
売上原価	12,225,411	15,652,810
売上総利益	3,046,682	4,423,445
販売費及び一般管理費	1,040,862	1,361,219
営業利益	2,005,819	3,062,226
営業外収益		
受取利息	43,128	57,958
受取配当金	14,176	12,892
為替差益	-	131,436
その他	12,461	19,284
営業外収益合計	69,765	221,571
営業外費用		
為替差損	31,943	-
租税公課	61,746	-
その他	351	582
営業外費用合計	94,040	582
経常利益	1,981,544	3,283,215
特別損失		
固定資産売却損	-	229
固定資産除却損	1,240	530
特別損失合計	1,240	759
税金等調整前四半期純利益	1,980,304	3,282,455
法人税、住民税及び事業税	802,593	1,083,483
法人税等調整額	110,687	54,875
法人税等合計	691,905	1,028,607
少数株主損益調整前四半期純利益	1,288,399	2,253,847
四半期純利益	1,288,399	2,253,847

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年2月21日 至 平成24年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年2月21日 至 平成25年11月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,288,399	2,253,847
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,371	76,319
為替換算調整勘定	8,423	596,949
その他の包括利益合計	3,052	673,269
四半期包括利益	1,291,451	2,927,117
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,291,451	2,927,117
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成に当たり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年2月21日 至 平成24年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年2月21日 至 平成25年11月20日)
減価償却費	181,959千円	279,230千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年2月21日 至 平成24年11月20日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月17日 定時株主総会	普通株式	131,357	20	平成24年2月20日	平成24年5月18日	利益剰余金
平成24年10月1日 取締役会	普通株式	131,356	20	平成24年8月20日	平成24年11月1日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年2月21日 至 平成25年11月20日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月17日 定時株主総会	普通株式	328,389	50	平成25年2月20日	平成25年5月20日	利益剰余金
平成25年10月1日 取締役会	普通株式	295,550	45	平成25年8月20日	平成25年11月1日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、生理用ナプキン製造機械及び紙オムツ製造機械等の一般産業用機械・装置製造業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年11月20日)
1株当たり四半期純利益金額	196円17銭	343円17銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	1,288,399	2,253,847
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	1,288,399	2,253,847
普通株式の期中平均株式数(千株)	6,567	6,567

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成25年10月1日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....295,550千円

(ロ) 1株当たりの金額.....45円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成25年11月1日

(注) 平成25年8月20日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行いました。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年12月26日

株式会社瑞光

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 小川佳男 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 大谷智英 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社瑞光の平成25年2月21日から平成26年2月20日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年8月21日から平成25年11月20日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年2月21日から平成25年11月20日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社瑞光及び連結子会社の平成25年11月20日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。